

# FS801

NET IMPRESS  
フラッシュマイコンプログラマ用  
コントロールモジュール

インストラクションマニュアル

株式会社DTSインサイト

## 改訂履歴

版	発行日付	変更内容
第1版	2015.05.21	新規発行
第2版	2015.08.25	仕様変更
第3版	2016.05.13	誤記修正

## おことわり

- 1) 本書の内容の全部または一部を、無断転載することは禁止されています。
- 2) 本書の内容は、改良のため予告なしに変更することがあります。
- 3) 本書の内容について、ご不審な点やお気付きの点がございましたらご連絡ください。
- 4) 本製品を運用した結果の内容の影響につきましては、3)に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。

## 目次

1. 概要 .....	3
2. 仕様 .....	4
2-1. 対象マイコンと仕様.....	4
2-2. 機種固有のパラメータ設定.....	5
2-2-1. 【 Parameter Table 1 ウィンドウの設定 】 .....	5
2-2-2. 【 Basic Operationウィンドウの設定 】 .....	10
2-2-3. 【 Parameter Table 2 ウィンドウの設定 】 .....	14
2-3. デバイスファンクションと実行機能.....	15
3. ターゲットシステムとの接続と専用コネクタ.....	16
3-1. 信号一覧表 .....	16
3-2. 代表的な接続例.....	17
3-3. 制御信号波形.....	19
3-4. プローブ .....	21
4. オプションバイト.....	23
4-1. 概要 .....	23
4-2. 設定方法 .....	23
4-3. YODファイル.....	24
5. エラーメッセージ.....	25
5-1. エラーメッセージ一覧.....	25
6. 代表マイコン以外への適用.....	26
6-1. パラメータ変更 (NET IMPRESSのキーボードを使って) .....	26
6-2. 対象マイコンの変更 (リモートコントローラを使って) .....	26
6-3. リモートコントローラによるパラメータの変更方法.....	27
7. YIMフォルダ管理.....	28
7-1. YIMフォルダによる段取り替え.....	28
7-2. 定義体交換方法.....	29
8. ご利用上の注意.....	30

## 1. 概要

FS801は、NET IMPRESS オンボードフラッシュマイコンプログラマ用のコントロールモジュールです。

FS801は、**STマイクロエレクトロニクス社製：STM8AF6223**を代表機種とする、これと同一のアルゴリズム・プロトコルで書き込み可能なフラッシュメモリ内蔵マイコンを対象とします。

書き込み制御情報を内蔵したコンパクトフラッシュカードで構成されます。

弊社では、標準プローブケーブルとして、AZ410、AZ411、AZ412、AZ413の4タイプをご用意しております。

その他のプローブケーブルについては、弊社又は代理店にお問い合わせください。

**本製品はNET IMPRES next Rev. J (HARD2 Version 40.28) 以降でのみご利用が可能です。**

NET IMPRESS nextについては弊社又は代理店にお問い合わせください。

### < ご注意 >

コントロールモジュールでは、当該代表マイコンと同一のアルゴリズム・プロトコルをもつ、他のマイコンの書き込みが可能です。

**必ずお客様がお使いになられるフラッシュメモリ内蔵マイコン用のマイコンパックと組み合わせてご使用ください。**

書き込み方式の異なるマイコンに対するご利用は、ターゲットマイコン及びそれを含むユーザシステムを破壊する恐れがあります。

## 2. 仕様

### 2-1. 対象マイコンと仕様

特に記載なき項目は、NET IMPRESS 標準に準じます。

型名	FS801
ターゲットマイコン	FS801Mxxマイコンパックで規定
Flash program memory 容量	同上
Data EEPROM 容量	同上
Flash program memory アドレス	同上
Data EEPROM アドレス	同上
オブジェクトファイル フォーマット	インテルHEX モトローラS バイナリ
デフォルト	モトローラS
ターゲットインタフェース	SWIMインタフェース 400Kbps相当
ベリファイモード	<input checked="" type="checkbox"/> FULL VERIFY <input type="checkbox"/> SUM VERIFY
デフォルト	FULL VERIFY
書き込み時のターゲット マイコン動作周波数	16MHz (内蔵RC発振器)
書き込み時のターゲット インタフェース電圧	FS801Mxxマイコンパックで規定

対象マイコンの詳細は各種マイコンパックのインストラクションマニュアルをご参照ください

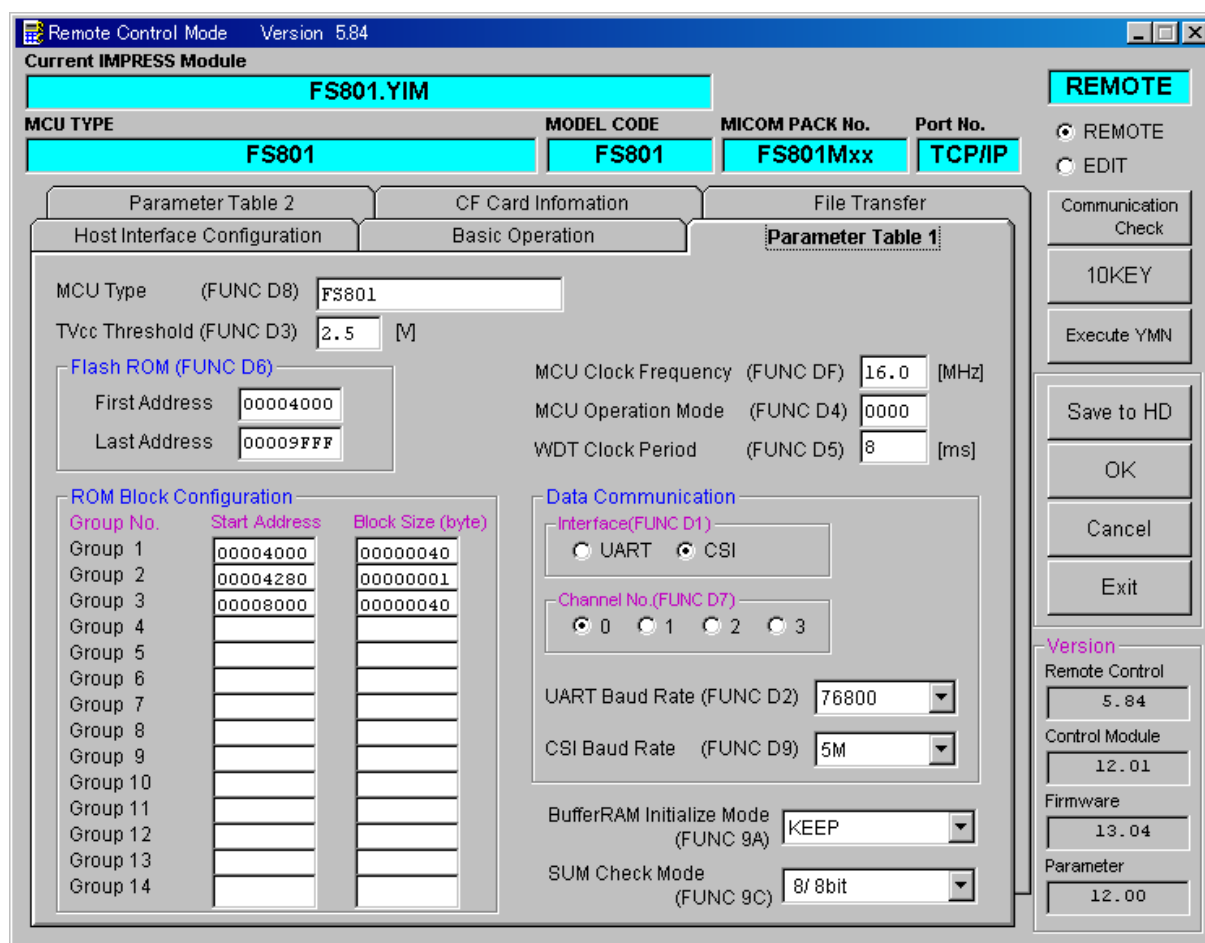
## 2-2. 機種固有のパラメータ設定

AZ490（リモートコントローラ：Windows上で動作）を利用して次の初期設定を行います。

リモートコントローラのご利用方法については、AZ490：リモートコントローラのインストラクションマニュアルをご参照ください。

### 2-2-1. 【Parameter Table 1 ウィンドウの設定】

Parameter Table 1 画面上で、ターゲットマイコンにあったパラメータ設定を行います。



### ①TVcc Threshold【FUNC D3】

ターゲットマイコンの動作電圧の下限値よりさらに10%程低い値を設定してください。  
NET IMPRESSは、ターゲットマイコンの動作電圧(TVcc)を監視しており、この電圧がここで設定する電圧値以上の時に、デバイスファンクションを実行します。  
NET IMPRESSでのTVccスレッシュホールドの設定は、NET IMPRESSのインストラクションマニュアル【5-4-5 TVccスレッシュホールド設定】をご参照ください。

### ②Flash ROM【First/Last Address】【FUNC D6】

マイコンに内蔵されているフラッシュメモリ領域(First/Last Address)を設定してください。  
NET IMPRESSでのキー操作(FUNC D6)では、Flash ROMの設定はできず、表示のみとなります。  
NET IMPRESSインストラクションマニュアル【5-4-8 フラッシュメモリ領域表示】をご参照ください。

### ③ROM Block Configuration

フラッシュメモリのブロック構成を設定します。

< ブロック情報テーブル >

ブロック情報テーブルは、ブロックグループNo.、ブロックグループのスタートアドレス、ブロックサイズの3情報からなります。

ブロックグループNo. : Group1~Group14までの14Groupが指定できます。  
連続したブロックサイズの等しい一群のブロックを一つのブロックグループとして、アドレスの小さい方から、小さい番号のブロックグループ番号を付与します。

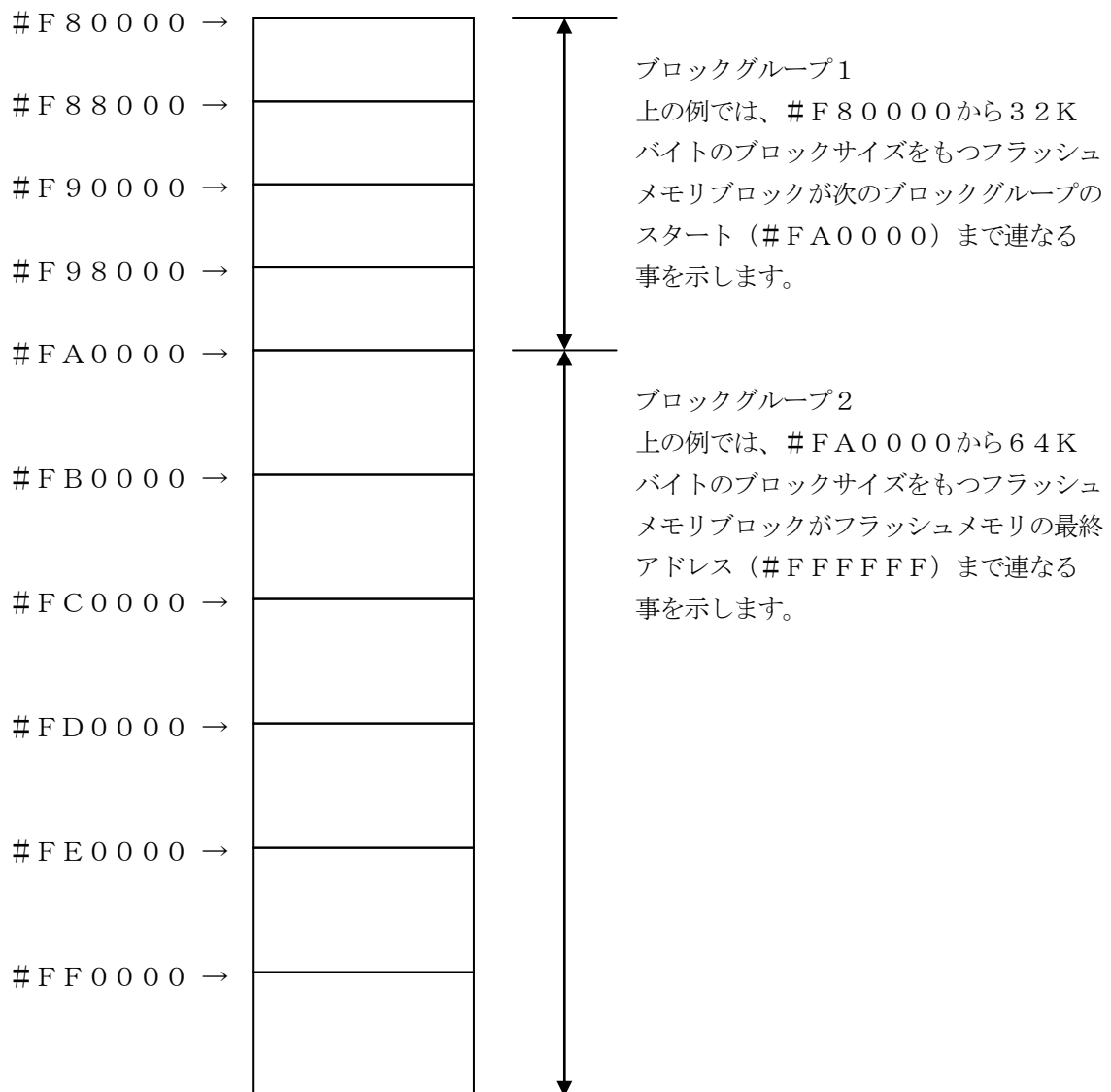
スタートアドレス : ブロックグループの開始アドレスです。  
このアドレスからブロックサイズで定められた大きさのブロックが連続して並び、一つのブロックグループを構成します。

ブロックサイズ : NET IMPRESSは、次の(ブロック)グループアドレスまで、このブロックサイズで定められたフラッシュメモリブロックが連続して配置されるものと解釈されます。  
また、**ブロックサイズを1にするとアクセス禁止領域**となります。アクセス禁止領域はデバイスファンクション実行領域内でも、書き込み・消去等が実行されません。

例 )

ブロックグループNo.	スタートアドレス	ブロックサイズ
1	#00F80000	#00008000
2	#00FA0000	#00010000
3	#00000000	#00000000

スタートアドレス





#### ④MCU Clock Frequency 【 FUNC D F 】

ターゲットマイコンの動作クロックを設定します。

FS801では、本設定は不要です。

#### ⑤MCU Operation Mode 【 FUNC D 4 】

プログラム終了時のオプションバイト処理を設定します。

AZ490 上の設定値	キー操作時の LCD 表示	
0000	St'd	オプションバイト処理無
0001	Opt. 0	オプションバイト処理有

詳細は、4章をご参照ください。

#### ⑥WDT Clock Period 【 FUNC D 5 】

NET IMPRESSは、オンボードプログラミング中に定周期のクロックパルスを出力する機能を持っています。このクロックパルス出力を利用する場合はWDT周期の設定を行います。定周期パルスは、3-1信号一覧表のWDT（18ピン端子）信号から出力されます。

NET IMPRESSでのWDT設定は、NET IMPRESSのインストラクションマニュアル【5-4-7 ウォッチドックタイマ設定】をご参照ください。

#### ⑦Data Communication

NET IMPRESSとターゲットマイコン間の通信設定を指定します。

FS801では、下記の設定に依らず通信設定は固定となります。

- ・通信路選択【 FUNC D 1 】
- ・Channel No.【 FUNC D 7 】
- ・UART Baud Rate【 FUNC D 2 】
- ・CSI Baud Rate【 FUNC D 9 】

⑧MCU Type 【 FUNC D8 】

この項目へ設定された内容が、ウィンドウ左上部のMCU Type及びNET IMPRESS  
本体上に表示されます。

マイコンの型名、お客様の装置型名など任意の文字を16桁まで入力できます。

NET IMPRESSでの表示型名変更は、NET IMPRESSのインストラクションマニ  
ュアル【 5-4-10 表示型名変更 】をご参照ください。

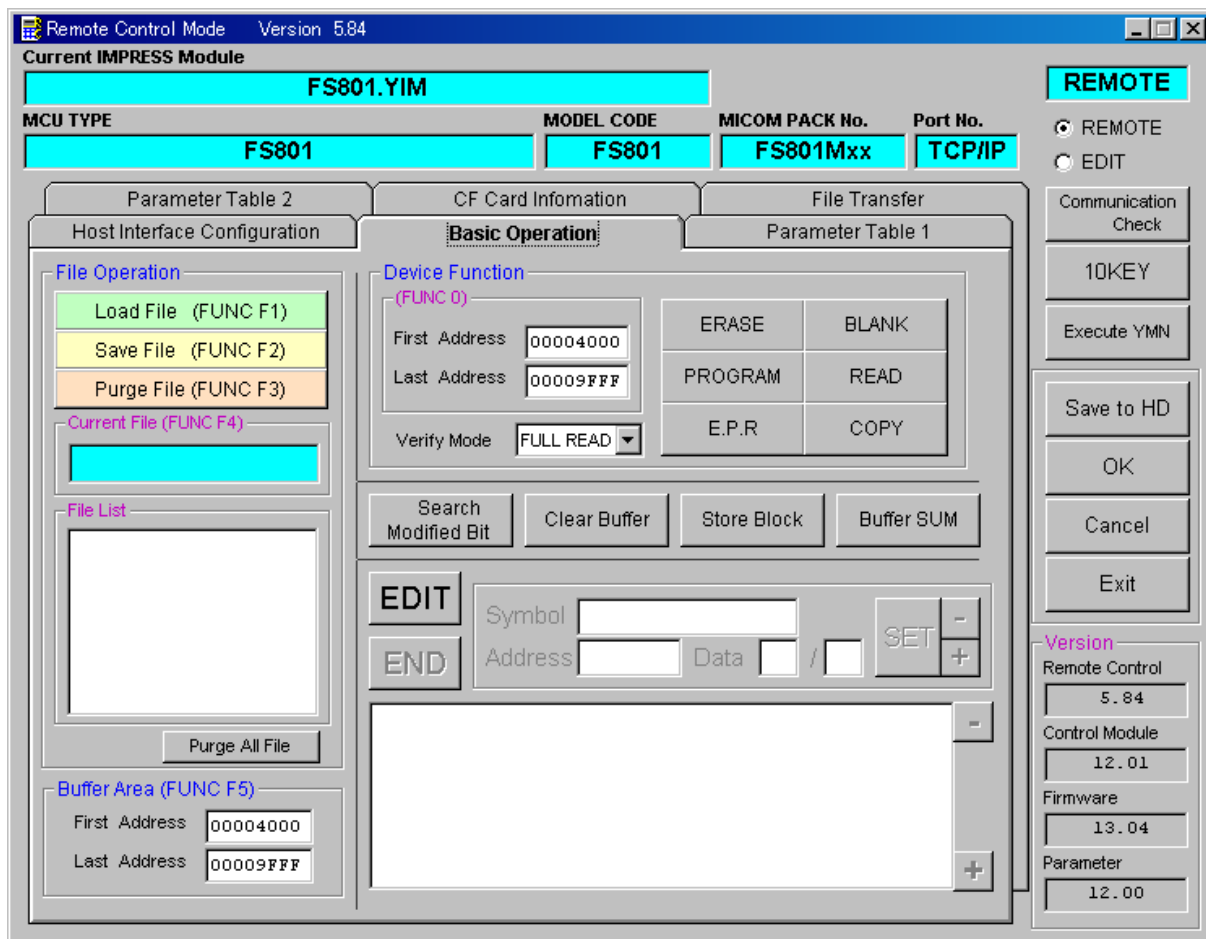
⑨OK

Parameter Table 1ウィンドウ内容を、コントロールモジュールに転送するキー  
です。①～⑧の設定変更後は、他のウィンドウに移る前に必ず、OKキーを押してください。

OKキーが押されなければ、変更したパラメータは反映されません。

## 2-2-2. 【 Basic Operationウィンドウの設定 】

Basic Operationウィンドウ上では、次の3項目の設定を行います。



#### ①Device Function【FUNC 0】

マイコンへのデバイスファンクションの対象領域を設定します。

通常は、2-2-1. ②項のFlash ROM領域と同じ設定にします。

デバイスファンクションアドレス【FUNC 0】は、その設定アドレス値により、図2-2-2-1のようにフラッシュメモリのブロック境界アドレスに自動アライメントされます。

この自動アライメントされた領域に対して、デバイスファンクションが実行されます。

#### ②Buffer Area【FUNC F5】

NET IMPRESSのバッファメモリ上のデータをセーブする領域、または、書き込みファイルをバッファメモリにロードする領域を設定します。

通常は、2-2-1. ②項のFlash ROM領域と同じ設定にします。

図2-2-2-2は、Device Function【FUNC 0】、Buffer Area【FUNC F5】、Flash ROM Area【FUNC D6】の関係を示しています。

#### ③Verify Mode

デバイスファンクションE. P. R、Program時に実行されるReadVerifyは、Read Verify Mode【FUNC 99】で設定されているリードベリファイが実行されます。

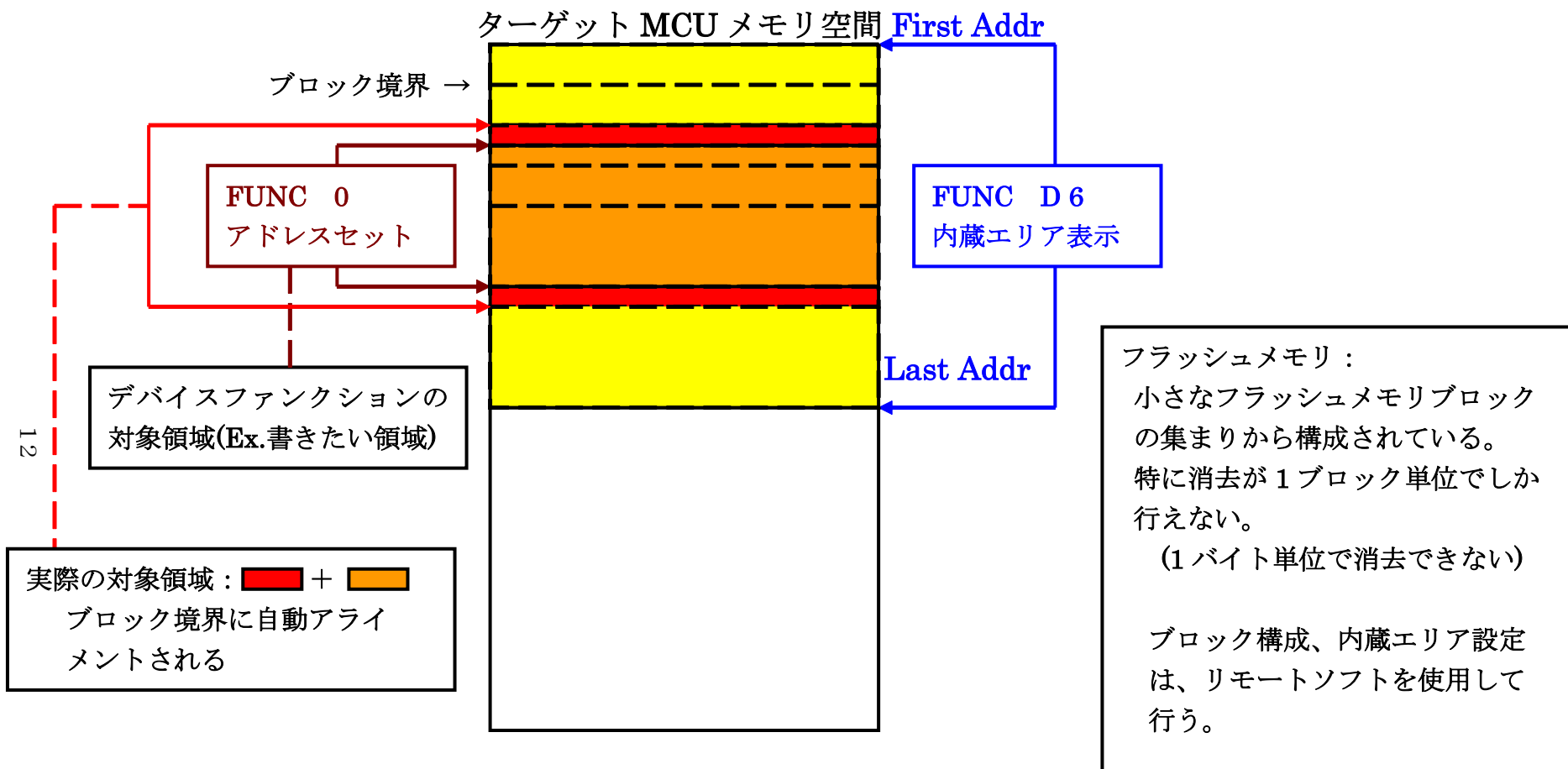
FS801では本設定に依らずFULL VERIFYが実行されます。

#### ④OK

ウィンドウ内容を、コントロールモジュールに転送するキーです。

①～③の設定変更後は、他のウィンドウに移る前に必ず、OKキーを押してください。

OKキーが押されなければ、変更したパラメータは反映されません。



**FUNC 0 アドレスセットとアドレスアライメント**

図 2-2-2-1

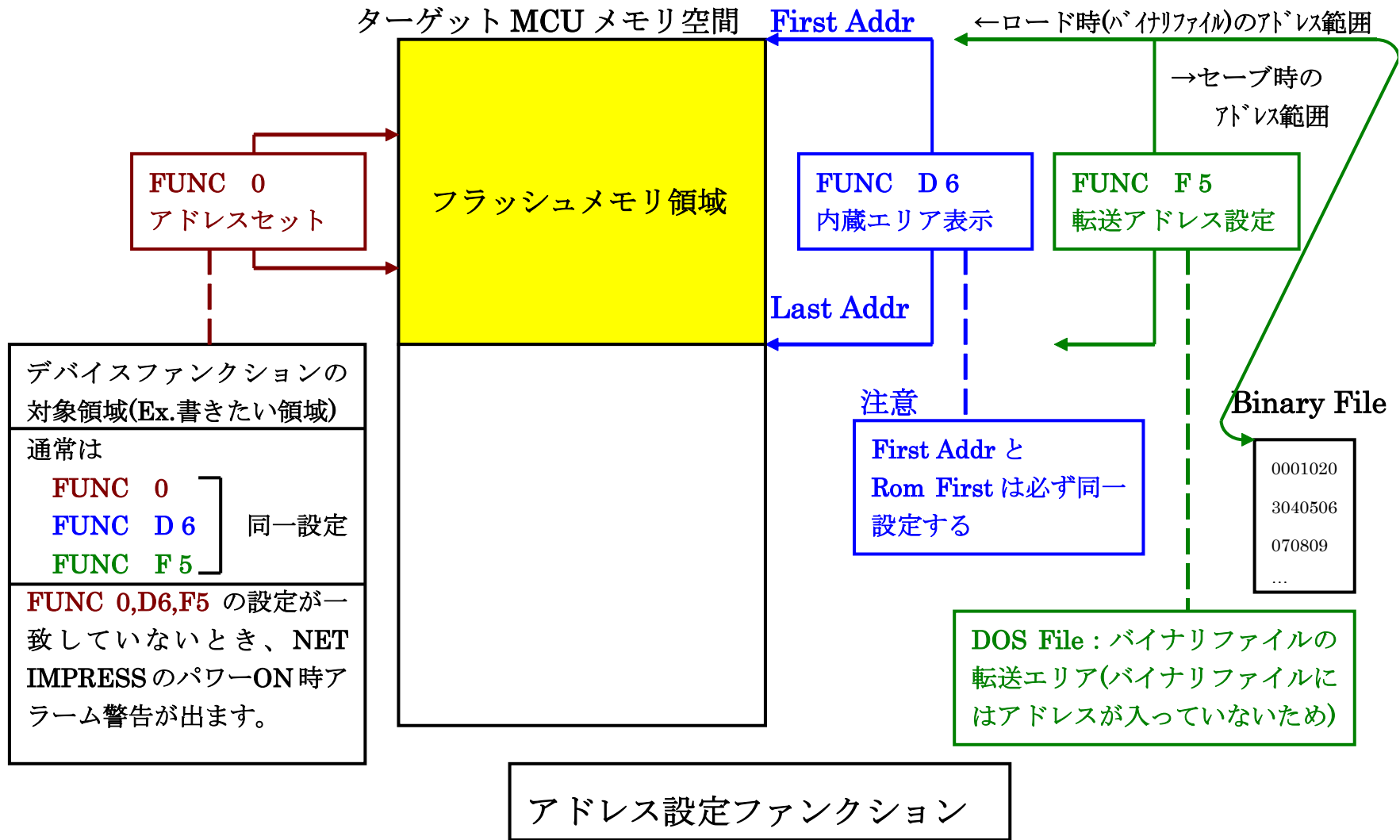


図 2-2-2-2

### 2-2-3. 【 Parameter Table 2 ウィンドウの設定 】

この設定ウィンドウには、マイコン固有パラメータが設定されていますので、変更しないでください。

設定変更が必要な場合は、事前に必ず弊社サポートセンタまで、ご相談ください。

Remote Control Mode Version 5.84

Current IMPRESS Module: **FS801.YIM**

MCU TYPE: **FS801**    MODEL CODE: **FS801**    MICOM PACK No.: **FS801Mxx**    Port No.: **TCP/IP**

Navigation: Host Interface Configuration | Basic Operation | Parameter Table 1 (selected)

Sub-navigation: Parameter Table 2 (selected) | CF Card Information | File Transfer

Specific Parameter for this Control Module (FUNC 8X)

	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	0A	0B	0C	0D	0E	0F
0C0:	00	01	00	00	03	E8	03	E8	03	E8	00	00	80	88	08	60
0D0:	48	00	48	0A	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	H.H.
0E0:	00	00	FF	00	FF	00	FF	00	FF	00	FF	00	00	00	00	
0F0:	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	
140:	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	
600:	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	
610:	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	
620:	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	
630:	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	

**- WARNING -**  
 These parameter should not be changed.  
 Contact to YDC in details.

Right Panel: **REMOTE** (selected), EDIT, Communication Check, 10KEY, Execute YMN, Save to HD, OK, Cancel, Exit

Version Information:  
 Remote Control: 5.84  
 Control Module: 12.01  
 Firmware: 13.04  
 Parameter: 12.00

### 2-3. デバイスファンクションと実行機能

NET IMPRESSのデバイスファンクション起動時に実行される機能は以下のとおりです。

デバイスファンクション		ERASE	BLANK	PROGRAM	READ	E. P. R	COPY
対象メモリ域	【FUNC 0】によるフラッシュメモリ一部領域	○	○	○	○	○	○
	【FUNC D6】によるフラッシュメモリ全領域	○	○	○	○	○	○
	アクセス禁止領域の設定による実行の回避	○	○	○	○	○	○
フラッシュメモリに対する実行動作		<input checked="" type="checkbox"/> Erase <input checked="" type="checkbox"/> Blank	<input checked="" type="checkbox"/> Blank	<input type="checkbox"/> Erase <input type="checkbox"/> Blank <input checked="" type="checkbox"/> Program <input checked="" type="checkbox"/> Read	<input checked="" type="checkbox"/> Read	<input checked="" type="checkbox"/> Erase <input checked="" type="checkbox"/> Blank <input checked="" type="checkbox"/> Program <input checked="" type="checkbox"/> Read	<input checked="" type="checkbox"/> Copy <input checked="" type="checkbox"/> Read
備考							



### 3. ターゲットシステムとの接続と専用コネクタ

#### 3-1. 信号一覧表

本コントロールモジュールをご利用頂いた場合のターゲットプローブコネクタ端の信号表を示します。

マイコン信号名	NET IMPRESSの標準信号名				マイコン信号名
VSS	GND	15	1	GND	VSS
	TVpp1	16	2	TVccd	VDD
	TVpp2	17	3	Vcc	
ウォッチドッグハルス 信号	WDT	(18)	(4)	TRES	正論理/TRES
	TAUX3 TVpp1c	19	5	/TRES	/RESET
	TAUX4 TVpp2c	20	6	TCK	
	reserved	21	7	reserved	
	reserved	22	8	reserved	
	TAUX	23	9	TAUX2 (TRW)	
	TBUSY	24	(10)	/TICS	マルチプレクサ用信号
	TIO	25	11	TAUX5 (/TOE)	
	TVccs	26	12	TMODE	
	TRXD	27	13	TTXD	SWIM
VSS	GND	28	14	GND	VSS

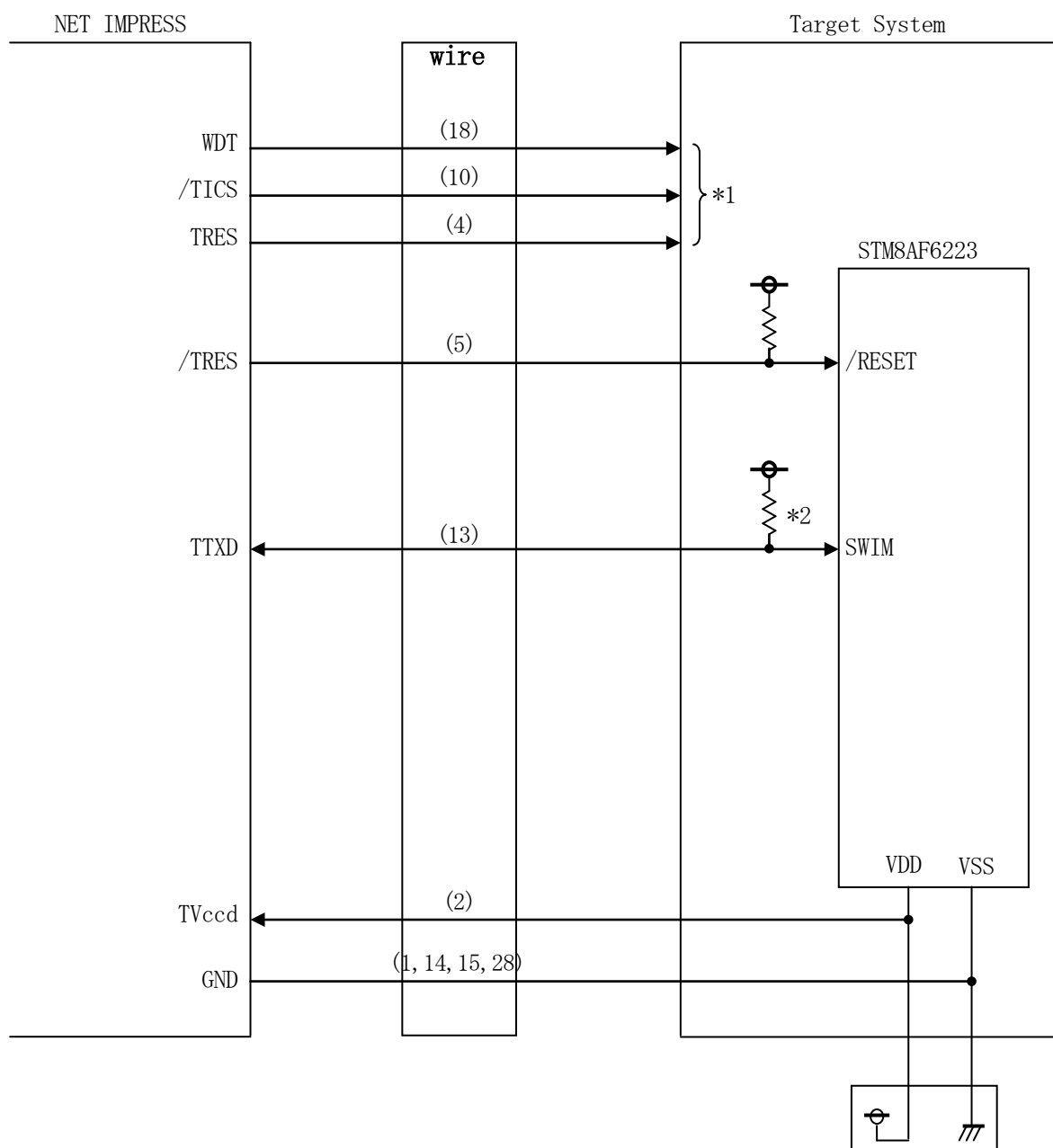
ターゲットプローブ信号表 (FS801)

○は、必ず接続頂く信号線です。

( )は、必要な時のみ接続してください。

注意：○も( )も印のない信号線は絶対にターゲットシステムの回路には接続しないでください。

### 3-2. 代表的な接続例

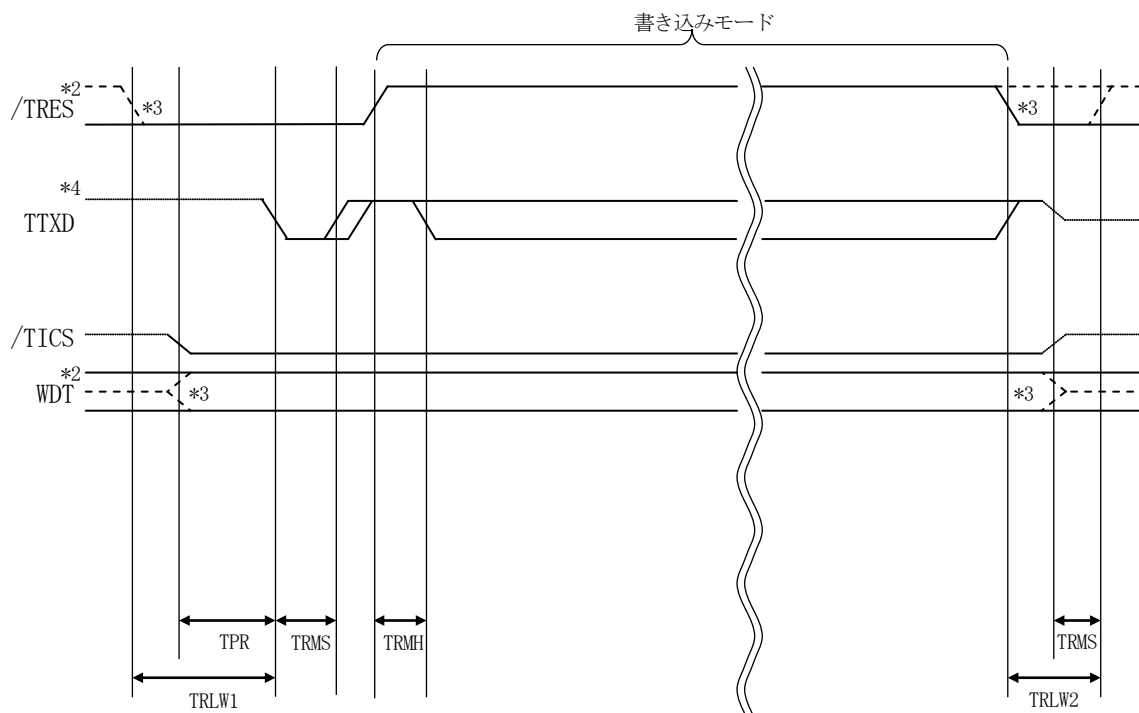


< ターゲットシステムとの接続例 >

- \* 1 オプション機能です。
- \* 2 TTXDはオープンドレイン出力となります。ターゲットシステム上で必ずプルアップ抵抗を配置してください。  
抵抗値は、220Ω～750Ωの範囲で、ご使用のターゲットに合わせて配置してください。

- ① “書き込みモード” など一部の書き込み信号がユーザシステムとの共用端子に定義されている場合には、それらの信号のマルチプレクス回路をユーザシステムに実装してください。／T I C S信号は、NET IMPRESSのデバイスファンクション実行時にだけアサートされる信号です。  
この信号によって共用端子に実装される信号切り替えを行います。  
マルチプレクス回路をユーザターゲットシステムにいていただくことにより、／T I C Sがネゲートされている時（デバイスファンクションを実行していない時）にNET IMPRESSが接続されていない（コネクタを外した）状態と同一の条件をつくることができます。  
書き込み制御に使われるこれらの信号が、フラッシュマイコンから制御用専用信号線として定義されるターゲットシステムでは、マルチプレクス回路は不要です。
- ②WDT信号端子には、WDT Period【 FUNC D5 】で設定されたクロック信号がNET IMPRESSより出力されます。（常時出力：オープンコレクタ出力）  
フラッシュメモリ書き込み中に、所定のクロック信号が必要なユーザ回路へ接続しご利用ください。
- ③NET IMPRESSでは、標準プローブ中に／TRES信号を設けてあります。  
／TRES信号は、ターゲットシステム内でワイヤードオアをとり、マイコンの／RESET端子に接続して頂けるよう、オープンコレクタ出力の信号としています。  
TRES信号は、ターゲットシステムが正論理のリセット信号を必要としている場合にご利用いただけます。TRES信号は、トータムポール出力の信号です。

### 3-3. 制御信号波形



	マイコン側仕様	ライター仕様
TPR		250ms (min)
TRLW1		300ms (min)
TRLW2		100ms (min)
TRMS		50ms (min)
TRMH		5ms (min)

- \* 1 : " ————— " は、HiZを示す。
- \* 2 : /TRES と WDT はオープンコレクタ出力。
- \* 3 : オプション機能です。
- \* 4 : TTXD はオープンドレイン出力

## 【動作手順】

- ①フラッシュプログラムの電源投入後、ターゲットシステムの電源を入れてください。  
プログラムは電源投入直後からWDT信号の出力を開始します。
- ②デバイスファンクションの実行によって／T I C Sがアサートされ、フラッシュプログラム用の通信チャンネルがターゲットシステム上でフラッシュプログラム側に接続されます。  
(フラッシュプログラム用の通信チャンネル及び、関連信号が他のユーザ回路から独立して常時フラッシュプログラムに専有されるシステムでは、本信号による信号切り替えは必要ありません)
- ③マイコンのプログラミングモードが起動され、規定の通信回線を使ってNET IMPRESSとの通信を始めます。通信は、あらかじめ設定されている通信条件で行います。
- ④デバイスファンクション終了後、／T I C Sをネゲートします。  
(／T I C Sネゲート後も、WDT信号（出力）から周期的なパルスが出力されつづけます)

### 3-4. プローブ

弊社では、標準プローブとしてAZ410、AZ411、AZ412、AZ413の4つを用意しております。各プローブのご用命は、弊社又は弊社代理店までご相談下さい。

各プローブの仕様は、NET IMPRESS インストラクションマニュアル【 8-6. ターゲットインタフェース 】または、弊社ホームページをご参照ください。

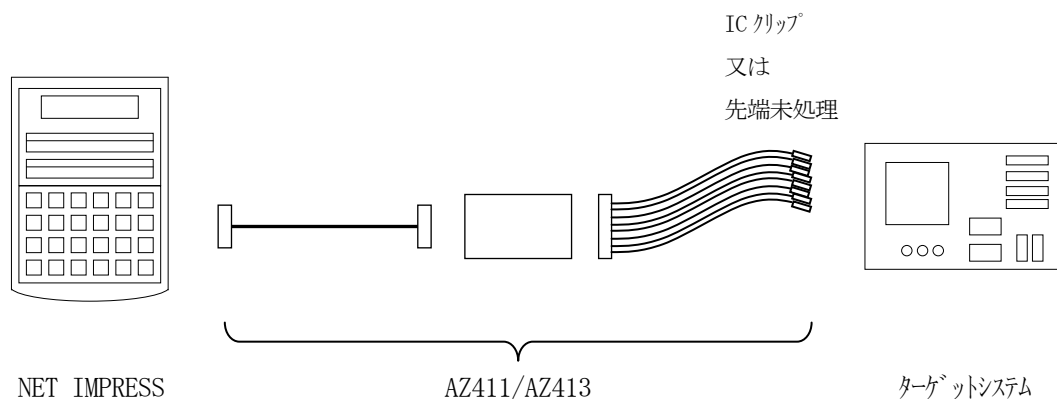
#### < AZ411/AZ413 >

NET IMPRESS の入出力線の多くには、GND線との間に1MΩのプルダウン抵抗が付加されています。また、ターゲットシステム上で使用するNET IMPRESSからの制御線は、NET IMPRESS用のコネクタを外した際にターゲットシステムに対して障害とならないようにネゲート状態にしておく必要があります。

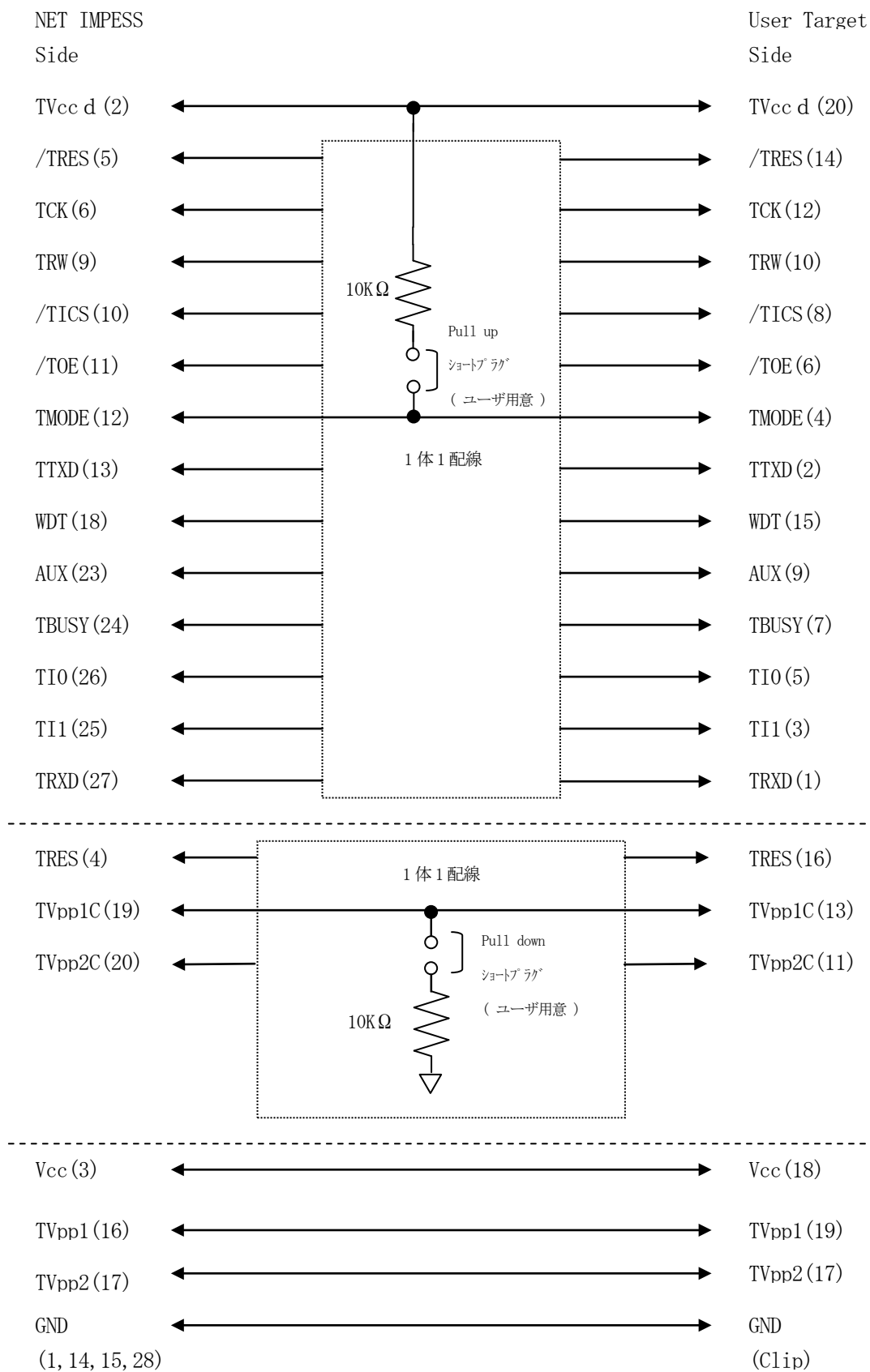
これらの信号に対しユーザシステム上でユーザ電源及びGND信号に対し、10KΩ程度の抵抗によりプルアップまたはプルダウンしておくことを推奨しています。

フラッシュライタからの制御信号線に対し、プルアップ抵抗（約10KΩ）をユーザシステム内で付加できない場合には、AZ411/AZ413をご利用下さい。

AZ411/AZ413は、フラッシュライタからの制御出力線に対し、プルアップ/プルダウン抵抗を任意に付加できるプローブです。



< AZ411/AZ413 >



## 4. オプションバイト

### 4-1. 概要

本コントロールモジュールの対象となるマイコンは、各機能を設定するオプションバイトを備えており、別途YDDファイルを作成していただき書き換えできるようになっております。

FUNC D4の設定により、オプションバイト処理の有効/無効を切り替えるようになっております。

FUNC D4の設定がオプションバイト処理有に設定されている場合、デバイスファンクションE・P・RまたはPROGRAMを実行することにより、オプションバイトを書き換えます。

**※オプションバイトの各機能に関してはデバイスのハードウェアマニュアルを参照してください。**

### 4-2. 設定方法

設定ファイルは、拡張子YDD（モトローラSフォーマット）のファイルとしコントロールモジュールのYIMフォルダ内に配置頂きます。設定ファイルはYIMフォルダ内に唯一とし、2つ以上の設定ファイルを配置することや、設定ファイルを配置していない状態でのご利用はできません。

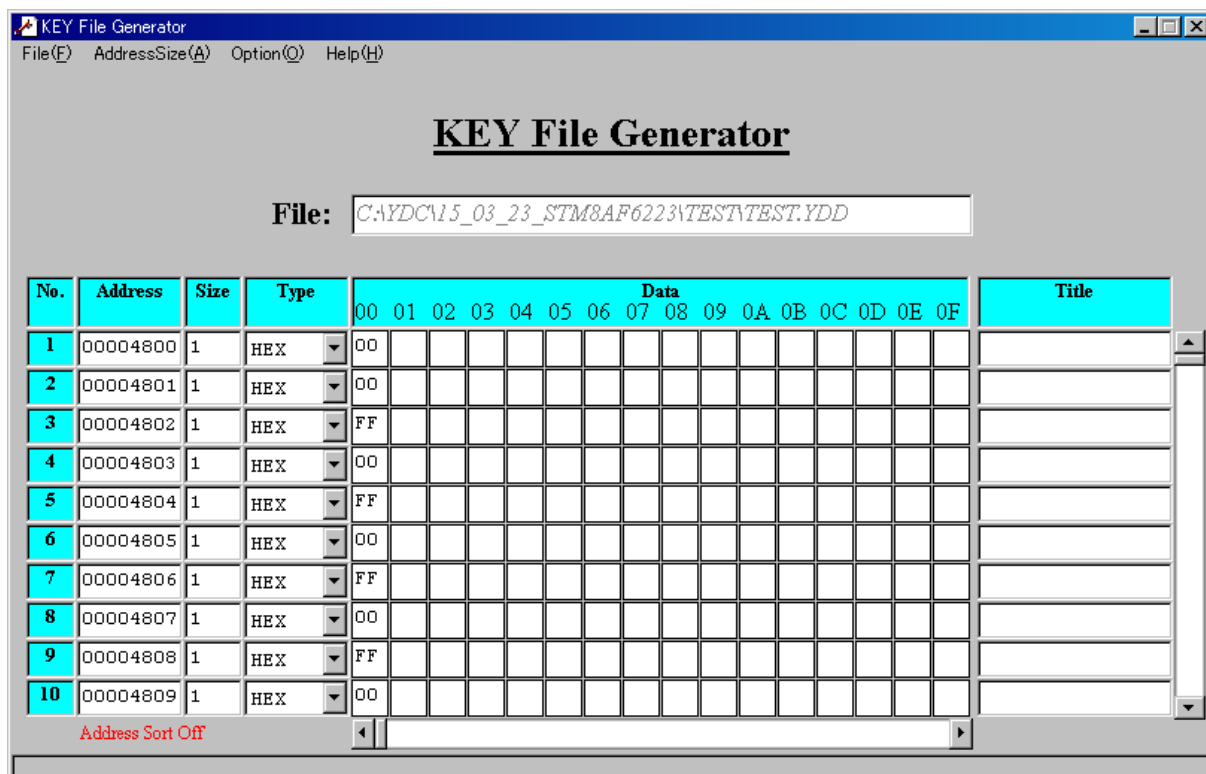
FUNC D4の設定がオプションバイト処理無に設定されている場合、設定ファイルは必要ありません。

FUNC D4の設定がオプションバイト処理有に設定されている場合でもE・P・RおよびPROGRAM以外のデバイスファンクションを実行する際には、設定ファイルは必要ありません。

設定ファイルの作成にはAZ481（KEYファイルジェネレータ）をご利用ください。



YDDサンプルファイルは弊社より提供されます。



<AZ481をご利用いただいた場合の作成例>

1バイト単位でアドレス・データを作成してください。(書き換えが必要な部分のみでも可能です)

FUNC D4がオプションバイト処理有の設定になっている場合、プログラム終了時にオプションバイトをYDDファイルの内容に書き換えます。

※オプションバイトには、Flash program memoryとData EEPROMのプロテクトに関わる機能があります。

詳細については、デバイスのハードウェアマニュアルおよびマイコンパックマニュアルを参照してください。

#### 4-3. YODファイル

ターゲットとなるマイコンによって、拡張子YODのオプションバイト初期値設定ファイルが必要となる場合があります。

詳細はマイコンパックマニュアルを参照してください。

## 5. エラーメッセージ

信号線の接続やパラメータ設定の誤りに対して、デバイスファンクション実行時に、特別なエラーメッセージを出力されます。

本章に記載されている以外のエラーメッセージは、NET IMPRESSのインストラクションマニュアルをご参照下さい。

### 5-1. エラーメッセージ一覧

<表5-1. 機種固有のエラーメッセージ一覧>

エラーメッセージ	エラー要因/対策	
1120 YDD FILE NOT FOUND	要因	YDDファイルがない、または2個以上のYDDファイルが配置されています。
	対策	YDDファイルが正しく配置されているかご確認ください。 YDDファイルについては第4章をご参照ください。
1121 YDD FILE OPEN ERROR	要因	YDDファイルの取得に失敗しました。
	対策	YDDファイルが正しく配置されているかご確認ください。 YDDファイルについては第4章をご参照ください。
1122 YDD FILE FORMAT ERROR	要因	YDDファイルの設定値に異常があります。
	対策	YDDファイルの内容をご確認ください。 YDDファイルについては第4章をご参照ください。
1123 YOD FILE NOT FOUND	要因	YODファイルがない、または2個以上のYDDファイルが配置されています。
	対策	YODファイルが正しく配置されているかご確認ください。 YODファイルについては第4章をご参照ください。
1124 YOD FILE OPEN ERROR	要因	YODファイルの取得に失敗しました。
	対策	YODファイルが正しく配置されているかご確認ください。 YODファイルについては第4章をご参照ください。
1125 YOD FILE FORMAT ERROR	要因	YODファイルの設定値に異常があります。
	対策	YODファイルの内容をご確認ください。 YODファイルについては第4章をご参照ください。
1130 PROTECT ERR	要因	デバイスのオプションバイトがプロテクト設定になっております。
	対策	全領域での消去またはE・P・Rを実行してください。

## 6. 代表マイコン以外への適用

### － パラメータテーブルの変更方法 －

#### 6-1. パラメータ変更 (NET IMPRESS のキーボードを使って)

NET IMPRESS インストラクションマニュアル【 5-4. パラメータ設定 】に示すファンクションコマンドで規定されるパラメータ (ファンクションD1~DF) については、NET IMPRESS のキーボード上で変更できます。

ターゲットシステムとの通信インタフェースやご利用になるターゲットシステムの電源電圧などがこの範囲に入ります。

#### < ご注意 >

マイコン内に内蔵されるフラッシュメモリブロック構成など、設定事項が多岐にわたる対象マイコン自体の変更は、NET IMPRESS のキーボードからは行えません。(リモートコントローラ: AZ490をご利用ください。)

また、実在マイコンのパラメータリストは、弊社より供給されている場合もあります。

詳細は弊社、または弊社代理店までお問い合わせください。

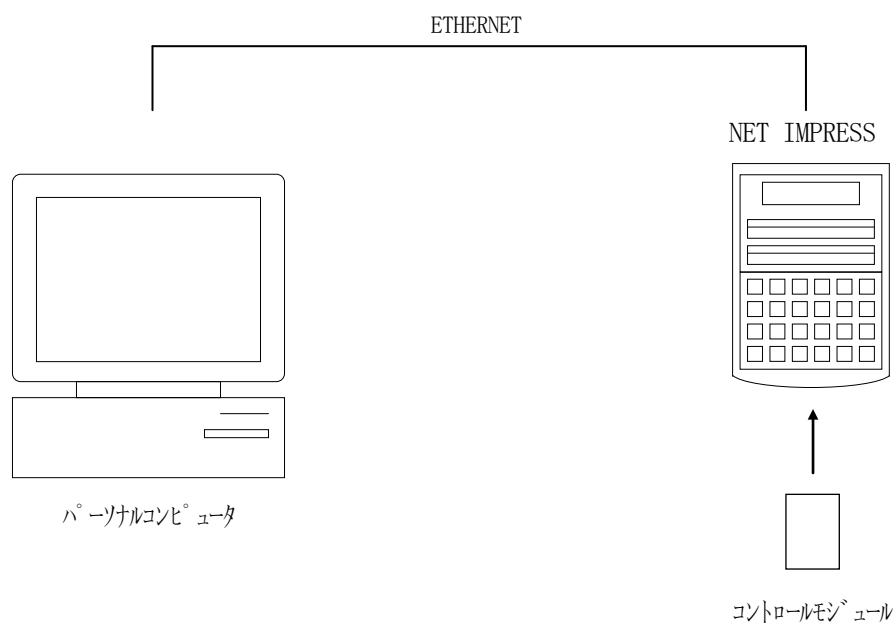
#### 6-2. 対象マイコンの変更 (リモートコントローラを使って)

弊社では、PCからNET IMPRESS をリモート制御するためのリモートコントローラ (AZ490) を用意しております。リモートコントローラは弊社ホームページよりダウンロード可能です。このリモートコントローラでは、NET IMPRESS のリモートコントロール機能のほかに、パラメータテーブルの設定、確認ができます。

リモートコントローラでは、パラメータテーブルを個々に設定する事ができ、変更可能なパラメータ設定対象は、以下のパラメータが含まれます。

- ①Device Type : 対象デバイス名称が設定できます  
NET IMPRESS LCD上に表示される名称を変更できます
- ②Flash Rom Area : 当該マイコンのフラッシュメモリ領域が設定できます
- ③Rom Block : フラッシュメモリのブロック構成をRom Group毎にスタートアドレスとサイズを設定する事ができます  
これにより、同一プロトコル・アルゴリズムをもつ代表マイコン以外のマイコンへの対応が可能となります
- ④MCU Clock : ターゲットマイコン動作クロック周波数の設定ができます
- ⑤通信インタフェース : ターゲットシステムとの通信インタフェースの設定ができます
- ⑥その他 : その他のマイコンの固有設定情報を変更する事ができます

### 6-3. リモートコントローラによるパラメータの変更方法



パーソナルコンピュータ (IBM-PC) と NET IMPRESS を ETHERNET ケーブルで接続します。

NET IMPRESS には、ターゲットマイコン用のコントロールモジュールを実装しておきます。パーソナルコンピュータ (Windows 環境) 上で、リモートコントローラを動作させることで、NET IMPRESS に実装されたコントロールモジュールのパラメータテーブルを変更/確認することができます。

リモートコントローラ (AZ 490) では、パラメータの一括ロード/セーブが行えます。

一括してセーブすることができますので、同系列の各種デリバティブマイコンへのパラメータテーブル変更を容易に行うことができます。

また、弊社ホームページよりダウンロードしたマイコンパックをコントロールモジュールにロードすることを容易に行うことができます。

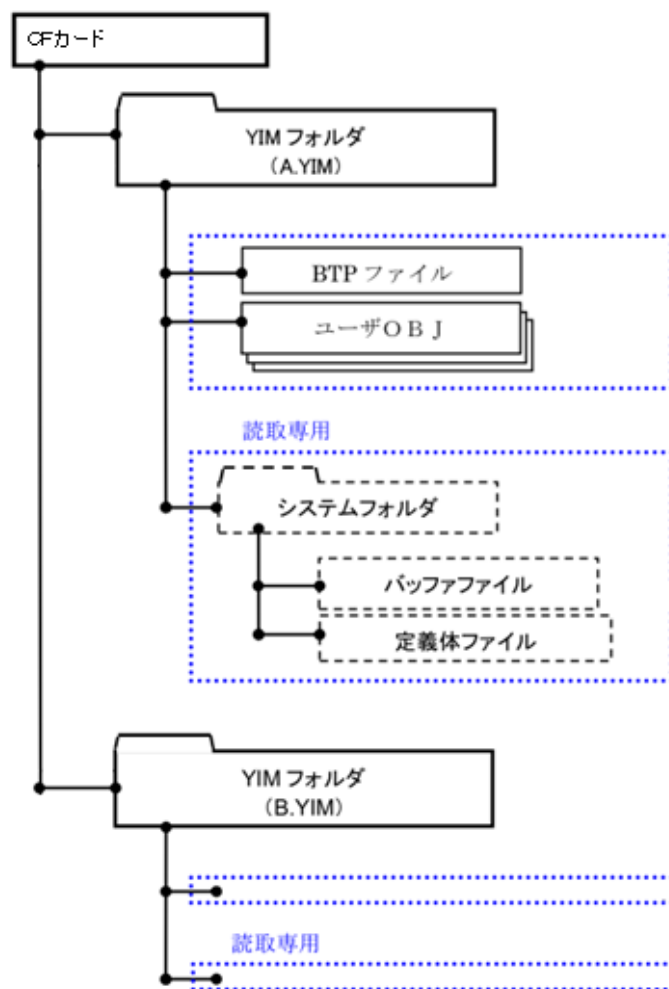
## 7. YIMフォルダ管理

### 7-1. YIMフォルダによる段取り替え

弊社ライタの仕様として、一連の書き込み制御用ファイル等をCFカード内のYIMフォルダで管理します。

そのため、異系列の書き込み仕様をもつマイコンに対しても、CFカードの交換なしに、リモートコントローラ（AZ490）のYIMフォルダ選択機能を用いて、スピーディな段取り換えを行うことができます。

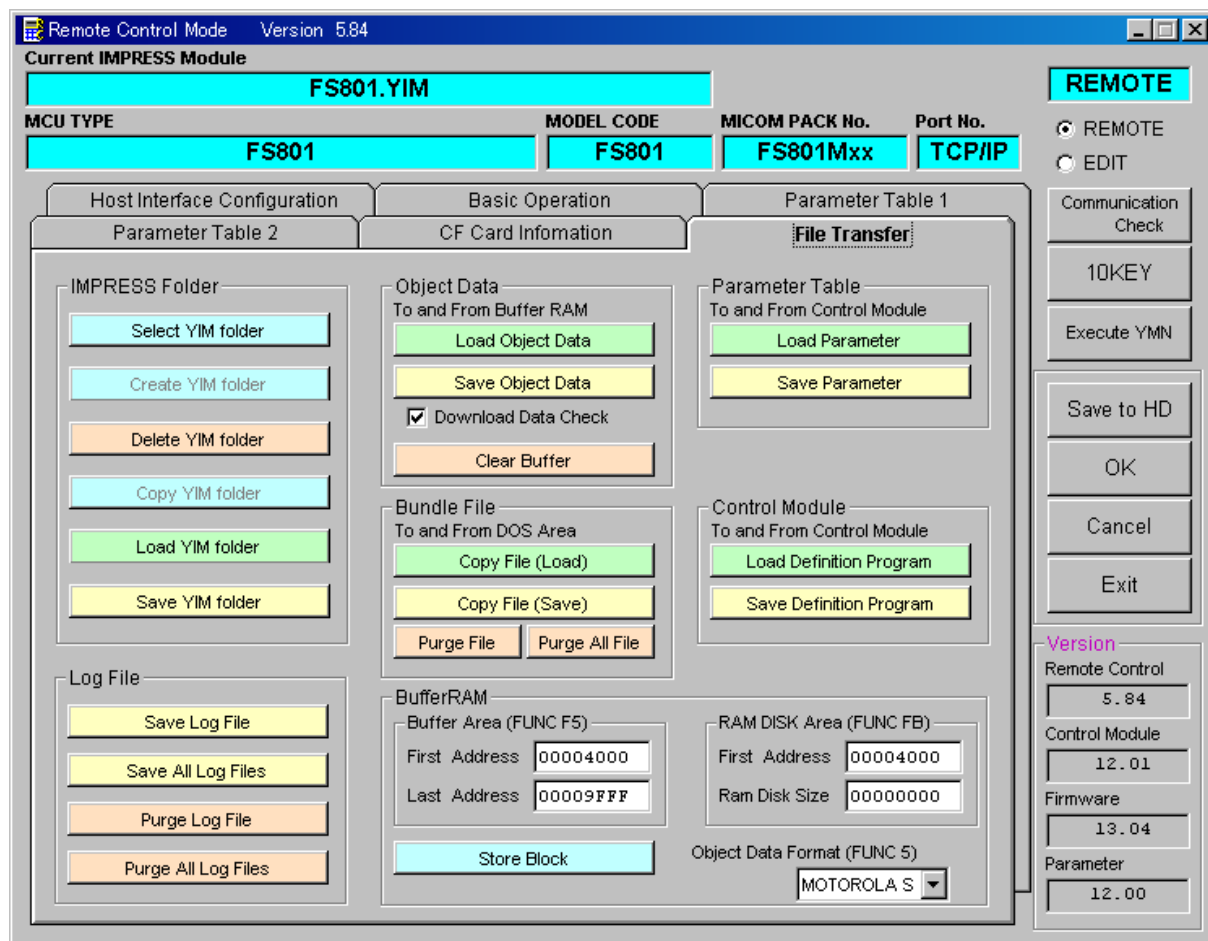
YIMフォルダにはあらかじめ定義体ファイルや各種書き込みに使用するファイルをロードしておく必要があります。



## 7-2. 定義体交換方法

定義体ライセンスが付加された、CFカードをNET IMPRESSに実装された状態にして、リモートコントローラ（AZ490）の定義体ダウンロード機能（File Transfer画面の、Load Definition Program）を使用して、YIMフォルダへの定義体ダウンロードを行います。（NET IMPRESS単体では、この機能はご利用できません）

定義体ライセンスをご購入時に、弊社より提供されたCDの中にある定義体ファイル（xxx.CM）をYIMフォルダにダウンロードして頂きます。



## 8. ご利用上の注意

- ①本コントロールモジュールは、弊社フラッシュマイコンプログラマ専用のコントロールモジュールです。弊社、フラッシュマイコンプログラマ以外ではご使用にならないでください。
- ②本コントロールモジュールは指定されたフラッシュマイコン専用のもので、他のマイコンへの書き込みには、書き込みを行うマイコン専用のコントロールモジュールをご利用ください。マイコンとコントロールモジュールとの対応を誤って使用すると、ターゲットシステムを破壊する恐れがあります。
- ③NET IMPRESSは、ターゲットシステムとのインタフェースIC（NET IMPRESS内部IC）電源用に数mAの電流をTVcc端子より消費いたします。
- ④デバイスファンクション又は、ファンクション実行中には、コントロールモジュールの脱着は、行わないでください。  
コントロールモジュールアクセス中に、脱着してしまいますとコントロールモジュールを破壊する恐れがあります。
- ⑤フラッシュマイコンプログラマは、コントロールモジュールを実装した状態で動作します。